

芸術士と語ろう

～子どもたちの創造性を育む文化芸術の役割について～



平成26年 9月23日 (祝)

■芸術士とは…

…子どもたちの芸術表現をサポートするアートの専門職です。

香川県高松市では、地域のアーティストを、「芸術士」として定期的に市内の保育所等に派遣し、子どもたちの興味や芸術表現をサポート、記録し、アートを取り入れた活動を行っています。活動は、保育や教育の枠にとどまらず、地域を巻き込んだまちづくりにも貢献する取り組みに発展しています。高松市では、このような「芸術士派遣事業」をイタリアの「レージョ・エミリア・アプローチ」という幼児教育の考え方を参考に2009年にスタートさせました。全国的にも初めての取り組みであり、保育や美術教育関係者からも注目されています。今回は松戸市に高松市から「芸術士」を招き、子どもたちの創造性を育む文化芸術の役割について考えてみたいと思います。

「芸術士のいる保育所」 <http://geijyutsushi.archipelago.or.jp/>

am

「子どものアート研究会」

「色を感じる」 高松市芸術士による松戸の保育士、学生のための公開ワークショップ

10時～11時30分

会場 聖徳大学7号館 7232教室
JR松戸駅東口 徒歩5分

■コーディネーター
北沢昌代(聖徳大学短期大学部 専任講師)

■講師
太田絵美子(高松市芸術士・NPO法人アーキペラゴ)
阿部麻海(元高松市芸術士)
伊藤修子(元高松市芸術士)

観覧希望 先着15名 無料
※要予約 聖徳大学美術研究室迄

主催/聖徳大学短期大学部 COC事業
<http://www.seitoku.ac.jp/chizai/coc/>

■問い合わせ 聖徳大学美術研究室 047-365-1111(大代)
(担当・北沢、大成)
松戸市 文化観光課 047-366-7327

pm

シンポジウム

「芸術士が見たレージョ・エミリア
～松戸で芸術士派遣事業を考える～」

13時30分～16時30分 (13時開場)

会場 聖徳大学1号館 香順メディアホール
参加費 無料 定員100名(申し込み不要)

■コーディネーター
大成哲雄(聖徳大学 准教授)

■パネリスト
太田絵美子(高松市芸術士・NPO法人アーキペラゴ)
阿部麻海・伊藤修子(元高松市芸術士)

■コメンテーター
三澤一実(武蔵野美術大学 教授
「旅するムサビプロジェクト」主宰)
榊瑞希子(聖徳大学大学院 教職研究科 教授・保育学)
庄子涉(松戸まちづくり会議 「暮らしの芸術都市」)
白井薫(松戸市 文化観光課)

■16時40分～17時40分 意見交換会

主催/聖徳大学短期大学部 COC事業
共催/全国大学造形美術教育教員養成協議会
松戸まちづくり会議(PARADISE AIR)
協力/聖徳大学生涯学習研究所